



- イ：成年男子及び少年男子は、試合開始前に登録された9名の交代要員の内、5名まで交代が認められる。  
また、交代枠をゴールキーパー含め全て使用后、プレーの続行が困難な負傷等が発生した場合に追加で1名に限り交代が認められる。少年女子は、試合開始前に登録された交代要員は、再交代（交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場可能）が認められる。
- ウ：成年男子及び少年男子は、脳震盪を起こした、またはその疑いがある競技者に限り、2025-2026 公益財団法人日本サッカー協会競技規則「脳震盪による交代（再出場なし）」を適用する。「脳震盪による交代」は、「通常」認められた交代の1人（1回）として数えない。「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは、（脳震盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。
- エ：チームが「脳振盪による交代」を行うこととした場合の手順は、赤色の交代用紙を用いて主審/第4の審判員に知らせる。脳振盪を起こした、またはその疑いがある競技者は、PK戦を含むその試合の残りの時間に出場することができない。  
主審や第4の審判員は、相手チームに1人の「追加の交代要員」と1回の「追加の交代の回数」を使うことができることを通知する。これは、「脳振盪による交代」を行うチームと同時でも、その後いつであっても使うことができる。  
チームが「追加の交代要員」を用いた交代を行うこととした場合、黄色の交代用紙を用いて主審/第4の審判員に知らせる。  
脳振盪を起こした、またはその疑いがある競技者は、PK戦を含むその試合の残りの時間に出場することができない。
- オ：退場を命じられた選手は、本大会の次の1試合に出場することができず、それ以降の処置については、大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- カ：本大会中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場することができない。ブロック大会での通算2回警告による出場停止処分は、そのブロック大会での処分が不可能ならば、以降の大会に持ち越されず消滅する。ただし、退場を受けた場合の出場停止処分は以降の大会に持ち越されるものとする。
- キ：暑熱対策としてJFA 熱中症対策ガイドライン（2024/5/21 改正版）に基づいて実施する。

## (2) 試合方法

- ア：成年男子 5府県でトーナメント方式により、代表1チームを決定する。  
少年男子 5府県でトーナメント方式により、代表2チームを決定する。  
少年女子 5府県でトーナメント方式により、代表1チームを決定する。
- イ：試合時間は70分間（前後半各35分間）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。  
勝敗が決しないときは、ペナルティーキック方式により、次回戦に進出するチームを決定する。

## 5. 参加資格、所属府県及び選手の年齢基準

第79回 国民スポーツ大会参加資格、所属府県及び選手の年齢基準によるもののほか、次による。

- (1) 各府県の成年男子、少年男子及び少年女子の代表チームは、単独、補強または選抜のうち、いずれかの方法により編成すること。
- (2) 公益財団法人日本サッカー協会定款第50条に基づき制定された「サッカー選手の登録と移籍等に関する規則」第2条及び「フットサル選手の登録と移籍等に関する規則」第2条に定める登録選手が参加できる。
- (3) 成年男子  
ア：2008年12月31日以前に生まれたものが参加できる。

イ：高校2・3年生のみの編成は不可とし、高校2・3年生の登録できる人数は5名以内とする。

(4) 少年男子

中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれたものから、2009年1月1日以降に生まれたものが参加できる。

(5) 少年女子

中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれたものから、2009年1月1日以降に生まれたものが参加できる。

(6) 外国籍競技者の参加

外国籍競技者の参加については総則を適用する。

(7) 監督

チーム（全種別）の監督は、公益財団法人日本サッカー協会公認指導者ライセンスに基づく、JFA公認S級コーチ、JFA公認A級コーチ（日本スポーツ協会コーチ4）、JFA公認B級コーチ（日本スポーツ協会コーチ3）のいずれかを有するものとする。

(8) 選手

チーム（全種別）の選手は、2025年度公益財団法人日本サッカー協会に登録されているものとする。大会期間中は選手証の写し（写真が貼付されたもの）または電子選手証を持参し、試合前にはこれを提示する。

※ 選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものとする。

## 6. 参加上の注意

(1) ユニフォームについて

公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程による。

(2) 選手の用具について

ア：本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ、及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

イ：正・副の2色については明確に異なる色とする。

ウ：主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

エ：前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ、及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

オ：ユニフォーム（シャツ）には、「チーム名」として必ず府県名を明示すること。

カ：背番号は成年男子が1~20番（監督が選手を兼ねる場合は、1~21番）、少年男子、少年女子が、1~20番の通し番号とし、参加申込書に記載した番号と同じ番号を付けること。

キ：ユニフォームは正副2色（シャツ、ショーツ、ソックス、GK用共）を参加申込書に記入すること。参加申込書の提出後のユニフォーム・背番号の変更は認めない。

ク：ユニフォームへの広告表示は認めない。

(3) 参加資格に違反したり、その他不都合な行為があったときは、そのチームの出場を停止することがある。

(4) エントリー変更については、疾病、傷害の場合並びに特別な場合のみ認めるものとし、その取り扱い

一般社団法人関西サッカー協会国スポ実施委員会の審議を経て変更を認める。

ア：変更はそれぞれの種別において 5 名以内とする。

イ：変更届は 8 月 12 日（火）17 時までに、一般社団法人奈良県サッカー協会の FAX (0744-47-2223) とメール(fa-nara@jfa.or.jp) に通知する。

ウ：変更届の原本と写し 3 部と医師の診断書を試合当日に大会本部まで持参する。

## 7. その他

### (1) ベンチ入り人数

交代要員最大 9 名およびスタッフ最大 6 名の合計最大 15 名とする。なお、スタッフは、試合当日にメンバー表へ記載されていればベンチ入り可能とする。

### (2) 交代回数

成年男子と少年男子は、ハーフタイム、クーリングブレイクを除いて 3 回までとする。

なお、少年女子は、交代回数に制限を行わない。

### (3) マッチコーディネーションミーティング

試合開始予定時刻 70 分前にユニフォーム確認等のために会場責任者 1 名、マッチコミッショナー 1 名 審判 4 名、チーム各 1 名で打ち合わせを MCM 室で行う。

### (4) 中止試合の勝者決定

- ① 試合開始後、雷などの為に試合を中断し再開出来なかった場合、試合を中断した時点のスコアを試合結果とするが、同点だった場合は、成年男子は抽選、少年男子、少年女子はトレセンリーグの順位により勝者を決定する。
- ② 試合開始前に中止となった場合は、成年男子は抽選、少年男子、少年女子はトレセンリーグの順位により勝者を決定する。

### (5) チーム代表者会議

成年男子、少年男子、少年女子ともに各府県出場チームより各 1 名出席すること。

日時：2025 年 8 月 13 日（水）18:00～19:00

会場：リモート方式での開催

### (6) その他

本実施要項に記載のない不測の事態が発生した場合は、一般社団法人関西サッカー協会国スポ実施委員会で協議の上決定する。